

# 小牧市のいじめの現状

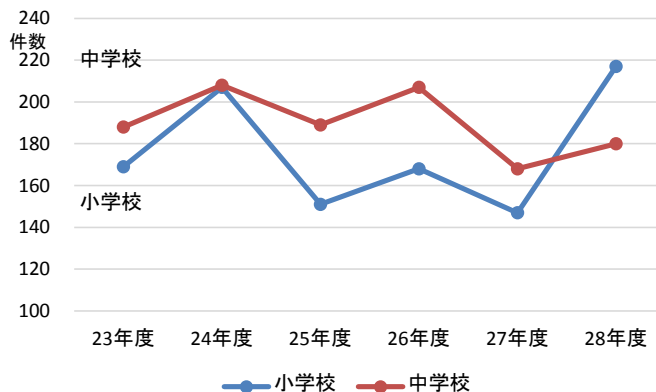
## 資料1

市立小中学校におけるいじめの認知件数等の推移の状況

### 1. いじめの認知件数の推移

	(件)					
平成	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
小学校	169	207	151	168	147	217
中学校	188	208	189	207	168	180

1,000人あたりのいじめの認知件数…30.2件  
 全国平均…23.9件 愛知県…19.2件

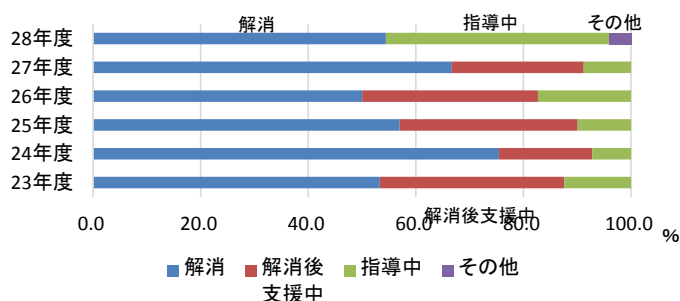


### 2. いじめの解消率の推移

#### (1) 小学校

※各年度ごとに上記1の件数に対する状況 (%)

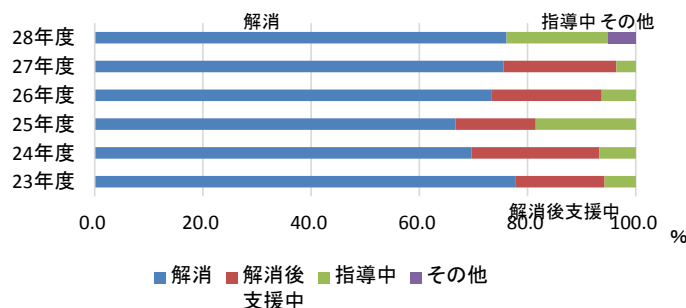
平成	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
解消	53.3	75.4	57.0	50.0	66.7	54.4
解消後支援中	34.3	17.4	33.1	32.7	24.5	
指導中	12.4	7.2	9.9	17.3	8.8	41.5
その他						4.1



#### (2) 中学校

※各年度ごとに上記1の件数に対する状況 (%)

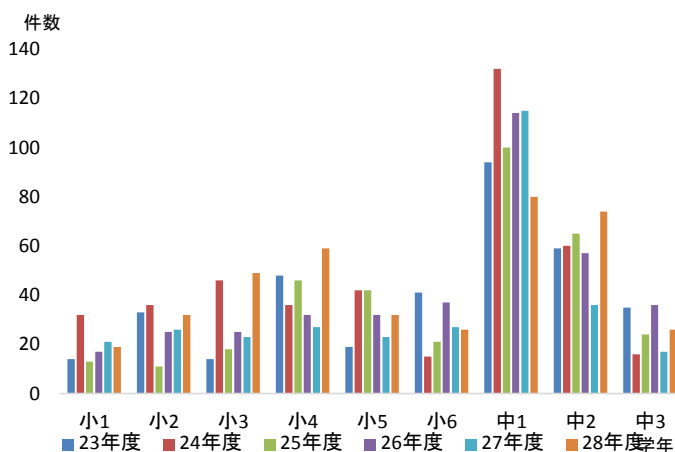
平成	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
解消	77.7	69.7	66.7	73.4	75.6	76.1
解消後支援中	16.5	23.6	14.8	20.3	20.8	
指導中	5.8	6.7	18.5	6.3	3.6	18.9
その他						5



### 3. 学年別いじめの認知件数の推移

(上記1 いじめの認知件数の内訳) (件)

平成	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
小学1年	14	32	13	17	21	19
小学2年	33	36	11	25	26	32
小学3年	14	46	18	25	23	49
小学4年	48	36	46	32	27	59
小学5年	19	42	42	32	23	32
小学6年	41	15	21	37	27	26
中学1年	94	132	100	114	115	80
中学2年	59	60	65	57	36	74
中学3年	35	16	24	36	17	26



# 平成29年度第1回いじめ実態調査（資料1）

1学期調査

## 1 いじめ実態把握のための調査方法 【校】

	小学校	中学校
ア アンケート調査	16	9
イ 教育相談（面談）	16	9
ウ 生活記録相談ノート等	4	7
エ 相談ポスト	3	2
オ その他	2	0

【いじめの定義】

児童生徒に対して、当該児童生徒が在籍する学校に在籍している等当該児童生徒と一定の人的関係にある他の児童生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む）であって、当該行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているもの当該児童生徒が、一定の人間関係のあるものから、心理的、物理的な攻撃を受けたことにより、精神的な苦痛を感じているもの

## 2 いじめの認知状況

【認知件数】

【件】

【参考】28年度4月～6月調査結果

		すべて	定義
小学校	すでに解消しているもの	38	35
	一定の解消が図られたが継続支援中のもの	38	37
	解消に向けて取組中のもの	8	8
	合計	84	80
中学校	すでに解消しているもの	39	19
	一定の解消が図られたが継続支援中のもの	34	32
	解消に向けて取組中のもの	15	12
	合計	88	63

すべて	定義
33	20
62	52
10	7
105	79
67	36
25	19
27	8
119	63

いじめの1,000人あたりの認知件数…小…9.6件、中…20.4件、全体…13.2件…

【認知状況分布】

【校】

	0件	1～5件	6～10件	11～15件	16～20件	21～25件	26～30件	31件以上
すべて(小)	1	10	3	1	0	1	0	0
定義(小)	2	9	3	1	0	1	0	0
すべて(中)	0	5	1	0	1	2	0	0
定義(中)	0	6	0	2	0	1	0	0

## 3 いじめの事実を最初にどのようにして見つけたか

【件】

		小学校		中学校	
		すべて	定義	すべて	定義
学校	学級担任	19	18	4	3
	担任以外の教職員	1	1	3	3
	カウンセラーや相談員	0	0	0	0
	養護教諭	0	0	0	0
	アンケート調査	24	24	33	17
学校以外	本人から	13	10	28	22
	本人の保護者から	24	24	8	7
	他の児童生徒から	3	2	11	10
	他の保護者から	0	0	1	1
	第三者から	1	1	0	0
	その他	0	0	0	0
合計		85	80	88	63

## 4 学校が行ったいじめ問題に対する日常の取り組み 【校】

	小学校	中学校
職員会議等で教職員の共通理解	16	9
道徳・学活等で取り上げ指導	14	6
全校集会・学年集会等で指導	11	5
児童・生徒会活動等を通していじめ問題を考えさせる	2	1
人間関係づくりや仲間づくりを促進する活動	14	8
カウンセラー、相談員、養護教諭による相談	13	6
教育相談体制などの校内組織の整備	12	9
学校以外の相談窓口の周知など専門機関との連携	7	4
いじめ対応方針や指導計画の外部への公表	5	5
P T A・地域関係団体とともにいじめ問題について協議	1	2
地域の関係機関との連携協力	1	1
学級通信・学年通信・学校通信等での取り扱いによる意識高揚	0	4
その他	0	0

## 5 校内いじめ対策委員会の開催数

【校】

	1回	2回	3回	4回	5回以上
小学校	10	1	4	1	0
中学校	4	0	1	1	1

# 平成29年度第2回いじめ実態調査（資料1）

## 2学期調査

【いじめの定義】

児童生徒に対して、当該児童生徒が在籍する学校に在籍している等当該児童生徒と一定の人的関係にある他の児童生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む）であって、当該行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているもの当該児童生徒が、一定の人間関係のあるものから、心理的、物理的な攻撃を受けたことにより、精神的な苦痛を感じているもの

### 1 いじめ実態把握のための調査方法 【校】

	小学校	中学校
ア アンケート調査	16	9
イ 教育相談（面談）	16	9
ウ 生活記録相談ノート等	2	7
エ 相談ポスト	3	2
オ その他	4	0

### 2 いじめの認知状況

【認知件数】

【件】

【参考】28年度7月～11月調査結果

		すべて	定義
小学校	すでに解消しているもの	38	32
	一定の解消が図られたが継続支援中のもの	66	55
	解消に向けて取組中のもの	39	30
	合計	143	117
中学校	すでに解消しているもの	80	27
	一定の解消が図られたが継続支援中のもの	32	27
	解消に向けて取組中のもの	34	29
	合計	146	83

すべて	定義
48	43
76	72
15	13
139	128
59	31
22	18
22	16
103	65

いじめの1,000人あたりの認知件数：小：16.4件、中：33.8件、全体：22.2件

【認知状況分布】

【校】

	0件	1～5件	6～10件	11～15件	16～20件	21～25件	26～30件	31件以上
すべて(小)	1	6	6	1	0	1	0	1
定義(小)	1	7	5	1	1	0	0	1
すべて(中)	1	1	2	1	1	1	1	1
定義(中)	1	2	4	1	0	1	0	0

### 3 いじめの事実を最初にどのようにして見つけたか

【件】

		小学校		中学校	
		すべて	定義	すべて	定義
学校	学級担任	15	13	10	9
	担任以外の教職員	1	1	8	7
	カウンセラーや相談員	0	0	0	0
	養護教諭	0	0	0	0
	アンケート調査	50	34	97	40
学校以外	本人から	43	38	13	12
	本人の保護者から	20	19	11	10
	他の児童生徒から	9	7	6	4
	他の保護者から	5	5	0	0
	第三者から	0	0	0	0
	その他	0	0	1	1
合計		143	117	146	83

### 4 学校が行ったいじめ問題に対する日常の取り組み

【校】

	小学校	中学校
職員会議等で教職員の共通理解	16	9
道徳・学活等で取り上げ指導	15	7
全校集会・学年集会等で指導	14	7
児童・生徒会活動等を通していじめ問題を考えさせる	0	1
人間関係づくりや仲間づくりを促進する活動	16	7
カウンセラー、相談員、養護教諭による相談	14	7
教育相談体制などの校内組織の整備	11	7
学校以外の相談窓口の周知など専門機関との連携	5	3
いじめ対応方針や指導計画の外部への公表	5	4
P T A・地域関係団体とともにいじめ問題について協議	1	2
地域の関係機関との連携協力	0	2
学級通信・学年通信・学校通信等での取り扱いによる意識高揚	1	3
その他	0	0

### 5 校内いじめ対策委員会の開催数

【校】

	1回	2回	3回	4回	5回以上
小学校	11	0	1	2	1
中学校	5	1	1	1	1